

## 関係団体からの意見に対する回答

対応内訳:①補足修正、②既記載、③説明・理解、④事業参考、⑤その他

項目	ご意見等の内容	回答	対応内訳	意見提出者
1	プランP17 登録されている障がい者サポーターの積極的（具体的）な活用をプランに盛り込んでいただきたい。	障がい者サポーターは、研修の受講者の増加により、現在受講者数という形をとっており、研修の中でボランティア活動や各イベントへの参加を促しています。また、市のホームページやSNS等の広報媒体を活用した情報発信もご紹介しております。	③説明・理解	熊本市手をつなぐ育成会
2	・講演会や研修事業を行い、発達障がいの特性理解や配慮方法を周知啓発していきます。 ③講演会や研修事業においては、専門家によるものだけでなく、当事者に参画・発信をしていただくようなプログラムを検討してほしいです。 当会も県外の発達障害者支援センターや相談支援専門員の協議会などでの研修実績や、大学への研究協力の実績もありますので協力も可能です。	これまでも当事者の方を講師とした研修会や、当事者の方と一緒に企画するワークショップ等の開催を行っておりますが、今後も当事者の方にご参画いただき、効果的な啓発イベントを開催してまいりたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。	④事業参考	熊本県発達障害当事者会Little bit(リルビット)
3	イ 発達障がいについての理解促進 ・小学校や中学校において、特別支援教育や発達に関わる相談窓口について記載したリーフレットを配布し、発達障がいについての正しい理解の促進に努めます。 ①「発達障がいについての正しい理解の促進に努めます」という部分を「発達障がいに関する認識を深め、本人（当事者）の理解に努めます」という表現への修正をお願いします。 「正しい理解」という言葉は本質的な理解の妨げになると考えます。 発達障害に関する知識や認識は当事者の声を取り入れた研究成果によって変わってきました。「正しい」という言葉は知識の固定化につながります。「固定化された正しさ」にとらわれると、かえって当事者を苦しめることとなります。発達障がいの理解においては、個性がある当事者を理解することが重要です。	当事者の個性性については、「正しい」の中に含めたところで理解促進に努めてまいります。	③説明・理解	熊本県発達障害当事者会Little bit(リルビット)
4	イ 発達障がいについての理解促進 ・小学校や中学校において、特別支援教育や発達に関わる相談窓口について記載したリーフレットを配布し、発達障がいについての正しい理解の促進に努めます。 ②小学校や中学校に限定して配布する理由はなんでしょうか。 他にも配布する場所を検討したほうが良いと考えます。 教育機関関係であれば高校や大学、専門学校等も考えられます。広く市民に理解していただくなら、市政だよりに簡易なリーフレットを挟むことや、熊本市が管轄する施設に置かせていただくことはできないでしょうか。	以前は、小中学校へ入学する児童生徒の保護者に対して配付していたリーフレットを、今年度は、小中学校の全ての保護者へデータで配付して理解を広げています。また、市民への理解を広げるために区役所や、各種相談機関等の窓口に設置するほか、熊本市公式LINEでの配信や市ホームページで掲載も行っているところです。 今後も当リーフレットの活用を幅を広げ、発達障がいに関する正しい知識の普及に努めてまいります。	③説明・理解	熊本県発達障害当事者会Little bit(リルビット)

	項目	ご意見等の内容	回答	対応内訳	意見提出者
5	プランP24～25	<p>&lt;基本目標2 1-(1)地域移行支援・地域生活支援の充実&gt; 当協会が関係する障がい者は、排便・排尿の生理現象に障がいがあり、障がい者であることをオープンにすることをためらう傾向があります。手術を受け、病院から退院する際に提供される情報を基に日常生活に移行していますが、必要とする情報の支援拠点が必ずしも十分でないと感じています。</p> <p>今回、提示された熊本市障がい者生活プランでは、様々な団体、機関との連携を含めて地域生活支援拠点等の整備と機能の充実が検討され、ありがたいと思っています。23ページに示されているイメージ図で、障がい者が必要な情報は、困った案件はどこに相談するか、駆け込み寺みたいな施設がどこにあるか、などです。</p> <p>イメージ図は素晴らしい取り組み(ハードはOK)ですので、関連する団体とも相談しながら、困っている障がい者が利用できる駆け込み寺みたいな拠点や機能の情報発信、情報の共有の方法(ソフトの部分)を検討していただきたいと考えています。障がい者が必要な時に、必要な窓口情報を得ることができ、必要な支援が得られたらありがたい。</p>	<p>本市では、障がいに関する総合相談窓口として「熊本市障がい者相談支援センター」を市内9か所に設置しています。当センターを地域生活支援拠点の中核として位置づけ、関係機関と連携を図りながら相談支援体制の充実や地域の体制づくりを推進しています。障がいのある方やそのご家族等が抱える困りごとについては、まず当センターにご相談ください。</p> <p>なお、情報の発信・共有の方法については、今後、機能の充実を図るうえで検討を進めてまいりたいと考えております。</p>	③説明・理解	公益財団法人日本オストミー協会 熊本県支部
6	プランP26～27	<p>&lt;基本目標2 1-(3)障がい特性に応じた支援③障がいのある高齢者に対する支援、1-(4)障がい福祉サービス等の充実&gt; 高齢に伴う身体能力の低下で生活支援用具の交換には、介護士やヘルパーの支援が不可欠になります。その不安を抱える障がい者も多くなっています。これについては障がい者相談支援センターや地域包括支援センターが関係機関との連携を検討されていますので、その検討結果を関連する団体にも情報発信して、情報を継続的に共有する仕組みを構築していただくとうれしいです。その際に、生活支援用具の交換に対応できる人材育成とそのネットワークづくりも考えていただけるとありがたいです。</p>	<p>障がいのある高齢者に対応するケースでは、障がい者相談支援センターと地域包括支援センター(ささえりあ)が連携を図っているところですが、必要に応じて関係する団体等への情報提供についても今後検討してまいります。</p>	④事業参考	公益財団法人日本オストミー協会 熊本県支部
7	プランP27	<p>聴覚障がい者が安心して手話でコミュニケーションができるデイサービス施設の拡充をお願いしたい。</p>	<p>ご意見については、今後の取組に関する参考とさせていただきます。</p>	④事業参考	熊本市ろう者福祉協会
8	プランP30	<p>・早期療育の充実 「早期に発見し、適切な療育や指導を行います」 ④何のために早期療育が必要なのかが不十分に思います。「全てのこどもの心身が健やかに育ち、またそのために親へも必要な支援が速やかに行われるために」という旨の説明を入れて頂きたいです。</p>	<p>ご意見を踏まえて、「乳幼児健康診査等を通じて、障がいや発達に課題があるこどもを早期に発見し、こどもの健やかな成長と自立した生活の実現のために、こどもとその家族に適切な療育や支援を行います。」に修正します。</p>	①補足修正	熊本県発達障害当事者会Little bit(リルビット)
9	プランP32	<p>「⑧小児慢性特定疾病児童等に対する支援」の記載があるが、『第3期 障がい児福祉計画』の中には見当たらないようですので、具体的な計画を入れていただきたい。小児期から成人期への移行期支援について熊本市ではどのような計画でしょうか。</p>	<p>熊本市障がい児福祉計画は、国が示す基本的な指針に基づいて策定するものであることから記載をしております。本市としましては、熊本市障がい者生活プランに定める施策に基づいて、難病に対する支援に取り組んでまいります。</p>	③説明・理解	特定非営利活動法人熊本県難病支援ネットワーク
10	プランP38	<p>3-(3)難病に関する保健・医療施策の推進の掲載はあるが、『第7期 障がい福祉計画』には入っていないようですので、難病の具体的な計画を入れていただきたい。</p>	<p>熊本市障がい児福祉計画は、国が示す基本的な指針に基づいて策定するものであることから記載をしております。本市としましては、熊本市障がい者生活プランに定める施策に基づいて、難病に対する支援に取り組んでまいります。</p>	③説明・理解	特定非営利活動法人熊本県難病支援ネットワーク
11	プランP44	<p>スポーツについて、東京オリンピック・パラリンピック・スペシャルオリンピックがあるが、聴覚障がい者は「デフリンピック」がある。身体の障がいはないが、聴者の中で競技するには、音に対する反応が無いため、ハンディがあるので、ろう者のオリンピック「デフリンピック」が開かれている。2025年に東京で開かれることになったので、支援をお願いしたい。</p>	<p>いただいたご意見については、国や他都市の動向を注視していきます。</p>	⑤その他	熊本市ろう者福祉協会

	項目	ご意見等の内容	回答	対応内訳	意見提出者
12	プランP44 プランP45	文化・観光施設巡りで、施設内の案内を手話・字幕で提供できるよう配慮してほしい。制作にあたっては協力をしていきたい。	観光施設における字幕対応のない映像資料や館内説明について、文字による案内の制作を検討します。また本市では、高齢や障がい等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく旅行できるまちを目指しており、手話による観光ガイド等に引き続き取り組んでいきます。また、文化施設の手話・字幕の提供について、今後の展示替えに反映できないか検討してまいります。	⑤その他	熊本市ろう者福祉協会
13	プランP48 プランP49	手話通訳士の派遣制度の業務は行政側で行うべきであり、民間団体がやるには、24時間体制ではないため急な要請に応えられない。意思疎通支援の派遣の24時間体制について検討をお願いします。	手話通訳者等派遣については、幅広い知識と技術が必要となり、また対応にあたっては相当数の手話通訳者等を確保する必要があります。このことから、上記条件を満たす法人団体に委託しており、現段階では行政側で業務を実施する財源を確保しておりません。手話通訳の24時間対応については、一般財団法人日本財団電話リレーサービスが公共インフラとして24時間対応可能なオペレーターによるサービスを行っております。今後、聴覚障がいのある方々や関係団体等のご意見をふまえ、更なる意思疎通支援の展開を検討してまいりたいと考えております。	⑤その他	熊本市ろう者福祉協会
14	プランP50 プランP51	<基本目標 4 1-(1)防災対策の推進⑤災害時の避難所における支援体制の整備> 当協会が関係する障がい者は、災害時には生活支援用具の調達や周囲の迷惑をかけない装具の交換(着脱)環境などが必要です。それらに対する不安があります。 災害時のオストメイトの支援体制に関して、事前に関係団体(当協会など)との連携・分担などを調整し、実際に災害が発生した時には障がい者が主体的に動ける支援体制や環境に関する情報を提供してもらえたら有難いです。これには障がいごとの連絡協議体みたいなものが必要かもしれません。取り組みのソフトの部分の充実をお願いしたいと考えています。	熊本市避難所開設・運営マニュアル(事前準備編)において、避難所運営委員会には要配慮者等を加え、多様な意見に配慮するよう定めています。生活支援用具の交換については、避難所で備蓄するパーティションを活用したり、教室や会議室等の使用することで、ご要望に応じてプライバシー確保のための空間を作ることができます。引き続き、避難所のよりよい生活環境に向けた取組に努めてまいります。	②既記載	公益財団法人日本オストミー協会 熊本県支部
15	プラン全体	⑤出来上がったプランは、UDフォントで、ルビ入りも作成して欲しいです。子どもやLD(学習障害)の方、海外の方も読みやすくなるかと思えます。	当プランはUDフォントで作成予定です。ルビの挿入については、今後の取組に関する参考とさせていただきます。	⑤その他	熊本県発達障害当事者会Little bit(リルビット)
16	計画P68	第5章の「自発的活動支援事業」に対する活動費の一部の支援とは?対象になる活動、活動費の支援の具体的項目を教えてください。	本市では、自発的活動支援事業として福祉団体に対し、厚生労働省が定める地域生活支援事業実施要項の条件を満たす範囲内で障がい者スポーツ大会や文化活動、その他障がい者に社会参加を推進する各種自主事業に対して運営費等の補助を行っております。	⑤その他	熊本市手をつなぐ育成会